

epoca

工 ポ カ

Vol.88

2011.2

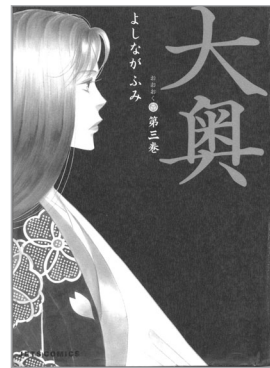
あざれあ図書室2010年の貸出TOP3!

家事にビジネスの視点を投入! わが家の管理職としてチェック!



3位

『やれば得する! ビジネス発想家事』
(ももせいづみ 六耀社 2009年)



男女の立場が逆転! ジェンダーがすんなりわかる!

2位

『大奥』1~6巻
(よしながふみ 白泉社 2005年~)



いつかくる“おひとりさま”
ライフのお守りBOOK

3位

『おひとりさまの老後』
(上野千鶴子 法研 2007年)

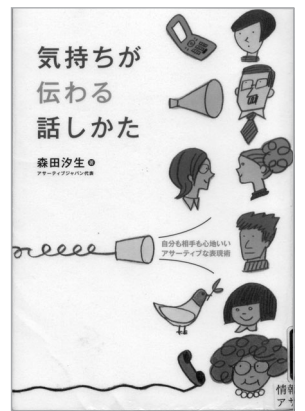


お仕事女子のやる気
スイッチをON!

職場でもプライベートでも役立つ、人間関係の悩みを解決!

1位

『Real Clothes』1~10巻
(榎村さとる 集英社 2007年~)



2位

『気持ちが伝わる話しかた』
(森田汐生 主婦の友社 2010年)

男女共同参画担当 市町の職員元気です! ⑧

磐田市

磐田市で今年、育児休業を取得したイクメンは5人



磐田市共生社会推進課
男女共同参画係
寺田利行さん

磐田市男女共同参画センター「ともしあ」では、今年度3つの新規事業に取り組みました。1つ目は「協働のまちづくり提案事業」です。この事業は、市と市民活動団体等が協働して行うもので、DV防止啓発セミナーの開催、DV体験者の手記をもとにした朗読舞台の上演等を実施しました。2つ目は「乳がん子宮がん検診受診率向上キャンペーン」です。企業の女性社員で組織されている「いわしんワーキングレディーズクラブ」と連携し、市内企業へ資料配布をしたほか、磐田駅周辺で通行人へ受診を呼びかけました。3つ目は毎年行っている「高校生のためのデートDV防止講座」

を定時制高校にも広め、デートDVとは何か、被害にあった時や相談された場合にはどうしたらよいかなどについて啓発しました。

また、磐田市では4年前から男性職員の育児参画を積極的に進めています。平成22年度の育児休業取得者は、現在、私を含め5人です。昨年11月に第1子が誕生し、約1ヶ月の育休を取得しました。仕事とプライベートがこんなにもリンクしているなんて、正直ビックリしています。「イクメン」としてワーク・ライフ・バランスの取れた働き方を今後も目指していきたいと思います。(談)

男女共同参画課から

事業報告

男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体 情報交換会 2010.11.17 実施



第2回講師
渥美由喜さん
(あつみなおき)

東レ経営研究所
ダイバーシティ&ワ
ークライフバランス
研究部長

第1回に続き、宣言事業所・団体の男女共同参画推進担当者が集まり、情報交換をしました。講師の渥美さんからは、個別具体的に社風・社員・職員を変えていく戦略を授けていただきました。

DV防止講演会

2010.11.19 実施



講師：沼崎一郎さん（東北大学大学院教授）

ドメスティック・バイオレンス（DV）は、他のすべての暴力と同じように「犯罪」だという認識を持つことが大切です。その観点から、DV加害者は逮捕され、処罰を与えられるべきです。また、DV根絶には、被害者とその子どもの独立と自立が不可欠です。（講演内容より）

女性のためのカウンセリングセミナー

～悩みに寄り添い、サポートするスキルを学ぶ～

2010.10.16～12.18 実施



富士市で行われた基礎編、あざれあで行われた応用編とも締切を待たず定員に達したほどの人気講座でした。相談員をめざす女性たちの目は真剣そのもの。以下のような感想が寄せられました。

- ・とてもプロフェッショナルな指導を受けられた。
- ・悩みを解決するのは自分自身で、その解決方法をサポートするのがフェミニストカウンセリングであるとわかった。勉強をもっと続けたい。
- ・女性をめぐる正確な情報を得ることができた。たくさんの方に受講してもらいたい。

働きたいワタシの イチから覚えるパソコン講座

2010.11.11.15～12/10 実施

延べ30人の女性がワード、エクセルの基本を学びました。託児がついたのでママ同士、仲よくなって、友達の輪が広がりました。

▶▶▶▶ 静岡県男女共同参画課では静岡県男女共同参画社会づくり宣言事業所を募集しています 問合せ：TEL 054-221-3122

女性管理職、女性エンジニアが増えました

ジャトコは、自動車のトランスミッションの開発、製造及び販売をしている会社です。従業員は国内だけで6千人以上で、県内大手企業の中でも上位を占めています。

人事部主担当でダイバーシティ推進に取り組んでいるのは佐藤真琴さん。ダイバーシティとは男女という性別だけでなく、国籍、学歴、キャリアなど、人の多様性を積極的に受け入れることにより、お客さまへ新しい価値を提供したり、活力のある組織づくりを実現するという考えです。佐藤さんはダイバーシティの必要性をどのように社員に浸透させることができるかを考えて、具体的な施策にして実行しています。

ジャトコでは経営戦略の一つとしてダイバーシティに取り組んでいます。多様な人財が活躍できる企業になるための努力が実り、本年度は「男女共同参画社会づくり活動に関する知事褒賞」をジャトコが受賞しました。

佐藤さんはダイバーシティ推進のために、社内向けのブログや社内報などを使って、ダイバーシティに関するメッセージを発信したり、ダイバーシティフォーラムを開催して、社員のマインドに働きかけてきました。また佐藤さん自身が女性のキャリアの相談にのり、遠慮しがちな女性社員の背中を押す役割を果たしています。ダイバーシティに関しては社長

を始め、経営陣の方も応援してくれていて、これは活動推進の上でとても励みになり、また推進力になっています。

こうした取り組みの結果、女性管理職の増加、女性エンジニアの増加、重要なプロジェクトに女性の参加が増えるなどの成果が上がってきました。

社長を先頭に役員の方たちが前向きで、勉強家で、柔軟な発想をもち経営しているということが、佐藤さんたちを動かしている大きなパワーになっていると感じられました。佐藤さんは現在、コーチングを学ぶために自前で東京へ通っているそうです。大変なエネルギーを感じた取材でした。

（取材：あざれあ交流会議

理事 松本玲子）



人事部主担当

佐藤真琴さん

男女共同参画社会づくり

宣言事業所

Jatco ジャトコ株式会社

〒417-8585 富士市今泉700-1
TEL 0545-51-7493 FAX 0545-51-5976
ホームページ <http://www.jatco.co.jp>

しずおか女性役職者等交流会

主催：静岡県女性管理職の会アドバンスクラブ・静岡県

2/4
金

13:30-16:30

講演会 13:30~15:15 あざれあ2階大会議室

技術と経営～しなやかで元気な女性が日本を変える～



講師：稲岡 則子さん

●profile

神奈川県出身。1983年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了。同年日本IBM入社。1996年ヘルスケア事業部ソリューション担当部長。日本IBM全社横断的な女性技術者コミュニティCOSMOSのサブリーダーとして活動を推進している。

交流会 15:30~16:30 あざれあ小ホール

- ◆定員：100人（定員に達し次第締め切ります）
- ◆参加者：民間企業の女性役職者やその候補者、女性役職者セミナー受講者、女性SOHOワーカー等、働く女性の活躍に興味のある女性
- ◆参加料：交流会は会費制のため、当日実費負担（1,000円）がありますので、受付にてお支払いください。
- ◆申込み：県経済産業部労働政策課に電話、FAX、Eメールで
TEL 054-221-2334、FAX 054-271-1979
E-mail roufuku@pref.shizuoka.lg.jp



食と農のフォーラム

主催：農山漁村パートナーシップ推進実行委員会・静岡県

2/15
火

13:20-16:00

講演会 あざれあ6階大ホール

食と農そして地域に生かそう！私たちの力



講師：金丸 弘美さん

●profile

食環境ジャーナリスト。佐賀県唐津市生まれ。食の総合プロデューサーとして、食育と地域づくりを連携させた食のワークショップのプランニングからツアーへの展開といった食のアドバイザー事業、また学校での食の講師なども手がける。著書に『田舎力 ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』（NHK生活人新書）等。

トーク&ミニライブ Jaa たけやさん

●profile

お笑いタレント 静岡大学卒。静岡県中遠農林事務所に米の普及指導員として勤務後、お笑いの世界に転進した。

- ◆定員：300人（先着順）
- ◆問合せ：県経済産業部職業能力開発課 TEL 054-221-2802
- ◆申込み：県経済産業部職業能力開発課にFAX、Eメールで
FAX 054-271-1979
E-mail sykunow@pref.shizuoka.lg.jp



女性相談フォローアップセミナー

講演会 あざれあ5階第3会議室

3/10
木

13:30-16:00

ここからからだ 元気のヒント
～女性のストレスと身体症状を知る～



講師：木村 慶子さん

●profile

医学博士。医療法人ここからからの元氣プラザ理事。慶應大学医学部卒業。著書に『子育て最後のチャンス』『頭がいい親の13歳からの子育て』がある。

最近、なんとなく
気持ちが沈む

女性特有の病
気が気になる

ストレス、バイバ



- ◆対象：県内在住のおおむね40代～50代の女性
- ◆託児：無料・先着15名まで
（1歳半以上～就学前 要予約2月24日まで）
- ◆申込み：県男女共同参画課まで①氏名②住所③年齢
④電話番号⑤託児の希望の有無を電話、
FAX、Eメールのいずれかで
TEL 054-221-2824 FAX 054-221-2941
E-mail info@azarea.pref.shizuoka.jp

富士見の祭典 さくや姫プロジェクト 特別企画

さくやな話

2/23
水

14:00-17:00

さくやな話は、決して勝ち組話ではありません。困難にぶつかり、ときに挫折を味わいながらも、それを乗り越えながら成長してきた女性たちのリアルで等身大のお話です。

公式サイト <http://sakuyahime.jp>

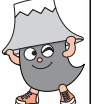
セッショントーク 14:00～ あざれあ2階大会議室

コーディネーター：ugaさん（写真家・さくや姫プロジェクト制作スタッフ）
ゲストスピーカー：久保田翠さん（NPO法人クリエイティブサポートレッツ代表）
SHIROさん（グラフィティ・アーティスト）
岩井万祐子さん（株式会社ホト・アグリ代表取締役）

オープントーク 16:00～ あざれあ2階展示スペース

- ◆主催：県男女共同参画課
- ◆プロジェクト実施者：株式会社レ・サンク
- ◆申込み：県男女共同参画課「さくやな話」受付担当まで①氏名②住所③職業
④電話番号⑤e-mailを電話、FAX、
Eメールのいずれかで
TEL 054-221-3363
FAX 054-221-2941
E-mail danjyo@pref.shizuoka.lg.jp

2月23日は
富士山の日
静岡県



磐田市男女共同参画センター「ともりあ」より移転と講演会のお知らせ

磐田市男女共同参画センター「ともりあ」は平成23年1月に移転し住所等が変更になりました。今年から土曜日でも開場しています

移転先 〒438-8601 静岡県磐田市森岡150番地

連絡先 電話：0538-36-3161 FAX：0538-36-3345

男性電話相談 専用電話番号：0538-36-3347

毎月第2・第4日曜日（祝日の場合は翌日）

午後6時～午後8時

開場日 月～土曜日 午前8時30分～午後5時

休場日 日曜日、祝日、年末年始

>>>男女共同参画講演会>>>自分らしくあなたらしく

男女共同で△(さんかく)じゃない

○(まる)い世の中

女も男も笑って暮らせる世の中に
笑福亭松枝が楽しい落語を織りまぜて語ります。

- 日 時：平成23年3月13日(日)
14時30分～16時30分(受付/14時～)
- 会 場：アミューズ豊田 ゆやホール
- 定 員：先着300人
- 対 象：どなたでも
- 申込方法：電話・FAXで氏名・電話番号を「ともりあ」までお知らせください

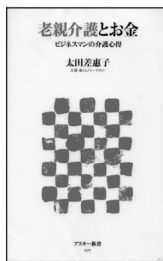
参加
無料



笑福亭松枝さん

あざれあ図書室から

“働く”を考える ⑩ 働く人の介護



『老親介護とお金 ：ビジネスマンの介護心得』

(太田差恵子/著 アスキー・メディアワークス 2008年)

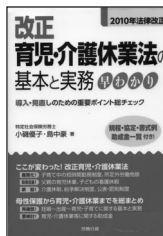
誰とチームを組むか、どんなビジョンを持つかなど、介護をプロジェクトとして捉えた考え方やお金の使い方を紹介します。「できること」「できないこと」の優先順位をつけた、無理をしない介護がわかります。



『おひとりさま介護』

(村田くみ/著 河出書房新社 2010年)

母親が倒れ、介護をすることになった著者。自身の体験を基に親が倒れたときの対応や、介護保険について説明します。また、親の状態を知るチェックリストや、福祉のインターネットサイトなどを紹介。介護をするかもしれない「おひとりさま」の心構えになる本です。



『改正育児・介護休業法の基本と実務早わかり』

(小島優子、島中豪/著 労務行政 2010年)

2010年に施行される法改正により、介護休暇制度が新設されました。どんなところが変わったか、改正のポイントをわかりやすく解説し、就業規則や社内書式例なども掲載しています。育児・介護休業法を理解するのに役立つ1冊です。

ご紹介した本は、すべてあざれあ図書室で借りることができます

図書室利用案内

貸出・返却

- 借りる：図書5冊、ビデオ・DVD2本
- 返す：カウンター、図書室開室時間外は返却ポスト（ビデオ・DVDは不可）、郵送（送料は利用者負担）



予約

■予約：カウンター、インターネットどちらでも。インターネットからの予約には、事前に図書室に来室してパスワード登録する必要があります。

開室は？

- 開室時間：月曜日～金曜日 9：00～18：00
土曜日・日曜日・祝日 9：00～17：00
- 休室日：第1・3・5日曜日、図書整理日、年末年始
- 直通電話：054-255-8763 / F A X : 054-255-8759
E-mail : library@azarea.pref.shizuoka.jp

あざれあ図書室

検索



出産で女性は賢くなる



ごま書房 2006年 (小谷博子/著)

「育児工学」という言葉を聞いたことがありますか？育児工学とは「最新の工学技術（サーモグラフィや脳波計などのエレクトロニクスやコンピュータ技術）を用いて、経験的に語られることの多かった育児を科学的にとらえ、産後の母親と赤ちゃんのための快適な育児環境を目指す研究分野」。著者は、自身が子育てをする中で、「ベビーマッサージをする」「優しい気持ちになる」「癒される」という自分の感覚、他のママたちとも共通する感覚を、科学的に実証したい、というところから、育児工学の道に進みます。

「便利な育児用品を作るため、売るための研究」が多い中、企業に頼らず「ママの立場でママと赤ちゃんのための研究をしよう」と決心するくだりは「ママ研究者、がんばれ!!」と思わずエールを送りたくくなります。

核家族化が進み、育児経験や文化の伝承が貧しく、不安をおおって商品を買わせる情報があふれる中、こういった形で自分の育児経験を社会に還元することが、新しい子育て支援であり、出産、育児をキャリアにする、ということではないでしょうか。

(あざれあ交流会議理事 滝 和子)

あざれあ相談

●悩んだとき、困ったときには「あざれあ」がある●

あざれあ相談 利用案内

女性相談

すべて女性スタッフによる相談です
安心してご相談ください

●電話相談

月・火・木・金(祝日、年末年始を除く) 9:00～16:00
水 (祝日、年末年始を除く) 14:00～20:00
毎月第2土 (祝日、年末年始を除く) 13:00～18:00

賀茂 0558(23)7879 東部 055(925)7879
中部 054(272)7879 西部 053(456)7879
(すべて「あざれあ」に転送されます)

●予約制による専門相談：面接または電話による相談

※まずは電話相談におかけください

◆弁護士相談（離婚・相続等）

第1・第3火曜日 13:00～16:00

◆精神科医相談

・心身の不調等 奇数月第3金曜日 13:00～16:00
・DVとその他暴力 偶数月第4火曜日 13:00～16:00

◆面接相談 毎月 月・木曜日 10:00～15:00

水曜日 14:00～19:00

男性相談

●電話相談のみ／生き方、家庭、仕事、健康等

毎月第3土曜日 13:00～17:00

TEL 054-272-7880



チャレンジ相談

●再就職、転職、起業、キャリアアップ、地域活動等

毎月2回程度(水曜日・土曜日) 託児有り 要予約

TEL 054-221-2824

エポカ・メルマガ

epocam@azarea.pref.shizuoka.jp
上記アドレスに空メールをお送りください。
あざれあで開催される講座・イベントの情報、図書室の新书推荐情報等をあなたのパソコンにいち早くお知らせします。携帯への送付もできます。右のQRコードを読み取り、空メールをお送り下さい。



会議室の予約

■開館時間

9:00-21:00(月～土)
9:00-17:00(日・祝日)

■休館日

第1、第3、第5日曜日、
12/27～1/5

■会議室予約は…

一般：半年前から
登録団体：9ヶ月前から
TEL 054-255-8440